

- 班編制によって技術の継承がスムーズになり、人材の早期育成が可能
- 自主的に学ぶ環境をつくることで、従業員の技術向上やモチベーションアップにつなげる

(有)マルサフルーツ古屋農園の概要

【設立】平成15年5月

【代表者】古屋 貞一

【売上】8億円

【事業内容】農産物の生産、加工、販売

【経営面積】桃(20品種)・葡萄(13品種) 11.5ha

【従業員数】正社員25人・パート5人

【所在地】山梨県笛吹市一宮町塩田163

【ホームページ】<http://www.marusa-f.co.jp>



研修生に学習農地を割り当て、収入とモチベーションアップに繋げる

【研修内容】

・研修1年目は、農産物の栽培から加工までの基礎的な技術を身につけさせます。

また、班を編制し、縦・横の繋がりの重要性を学び、業務遂行能力を磨いてもらいます。

・研修2年目は、個の能力を高めるとともに収穫の喜びを味わってもらうため、希望した作目の圃場を割り当て、栽培から収穫、販売までを経験させます。

【特長的な取組】

・少人数制の班を編制し、組織図が見える化することにより、相関がわかりやすく情報の伝達もスムーズに行えます。また、農業は個人プレーではなく、チームプレーだということの意識を高めます。

・年に一度、人事考課と面談を行い、研修生の能力や希望に応じて作目や作付面積を割り当てた学習農地にて自主的に技術を学び、収穫した青果物は、自身の収入となる仕組みを取っているため、従業員の技術向上やモチベーションもアップし、離職の減少に繋がっています。

・従業員の健康管理も経営者の責任とし、社員食堂を発足するため、簡易的な調理場を併設した休憩所を増設しました。食の大切さを追求するものとして、その社員食堂を通じ、従業員の食生活の見直しのお手伝いをする予定です。

キャリアプランイメージ

農の雇用事業でのOJT(2年)

- ・基礎から実践までの栽培技術の習得
- ・農産物加工における作業の習熟

班の責任者(3年目～)

- ・部下への指導と育成
- ・担当農地の拡充と技術の向上

農場長(8年目～)

- ・技術指導、人材管理と育成
- ・圃場全体の管理